

■織田信長 武将。天才的政治家として、中世的権威を否定・破壊し、近世を準備した。

おだのぶなが

・ ・ ・ ・ ・ 1534= 尾張守護代織田大和守家の奉行の家に生まれた。

鉄砲伝来・ ・ 1543= 9歳 :

父の信秀は傑出した武将で尾張勝幡城に拠り、津島の経済力や天王社の信仰を背景に一族間に優越し、美濃・三河を攻略、信長を那古野城に置き、斎藤利政(道三)の女をめとらせた。

ザビエル来日 1549=15歳 :

織田信長登場 1551=17歳 : 一族との対立、今川氏との対決という課題を残して、父が急逝したので信長は孤立し、家臣団は動揺。

大友布教許可 1552=18歳 :

川中島の戦始 1553=19歳 :

大陸邦民事件 1555=21歳 : 親族衆と連携しつつ敵対する一族を各個に撃破した信長は、清須城を奪い、

・ ・ ・ ・ ・ 1557=23歳 : 老臣に擁立された弟信行を殺し、

大友府内開港 1559=25歳 : \*岩倉城の織田信賢を迫って尾張を統一、

桶狭間の戦・ 1560=26歳 : 西上する今川義元を桶狭間の戦でたおし、

川中島最激戦 1561=27歳 :

大村長崎開港 1562=28歳 : 岡崎の徳川家康と同盟して態勢を安定させる。

川中島の戦終 1564=30歳 :

將軍義輝自刃 1565=31歳 : 墨俣に砦を築き美濃への攻撃を強め、

岐阜楽市楽座 1567=33歳 : 斎藤竜興を迫って美濃を征服し、井之口を岐阜と改称して拠点とし「天下布武」の印判使用を開始し、美濃加納楽市場に制札を掲げる。

織田信長入京 1568=34歳 : \*足利義昭を擁して上洛、三好三人衆を迫って幕府を再興、実質的な畿内支配を実現。

京都宣教許可 1569=35歳 : 將軍のため二条城を造営する一方、殿中掟・事書五箇条を定めて將軍権力を牽制し、

石山合戦始・ 1570=36歳 : 浅井・朝倉軍を近江姉川の戦に破り、ついで河内に進出したところ石山の本願寺顕如が決起して浅井・朝倉軍に呼応したため退却し、天皇の権威をかりて講和した。

三方原の戦・ 1572=38歳 : ついで、將軍の失敗を責め、

室町幕府滅亡 1573=39歳 : 宿敵浅井・朝倉両氏を滅ぼし、

長島一揆鎮圧 1574=40歳 : 伊勢長島の一向一揆を鎮圧。

長篠の戦・ ・ 1575=41歳 : 三河長篠の戦に武田勝頼の精鋭を破って鉄砲隊の威力を示し、丹波・丹後の征服を開始。越前の一向一揆を鎮定し、柴田勝家ら直屬部将を分封、国掟を与えて専制支配の姿勢を明らかにする。

安土城築城・ 1576=42歳 : そして濃尾両国を嫡子信忠に譲り、近江に安土城を築き、

安土楽市楽座 1577=43歳 : 羽柴秀吉に西国征伐を命じる。一方足利義昭の策謀により本願寺顕如・上杉謙信・毛利輝元らが信長を敵として連合し、松永久秀・荒木村重らの部将も背くが、信長は紀伊雑賀を圧迫し、

上杉謙信没・ 1578=44歳 : 鉄甲船によって毛利水軍を破り、また上杉謙信も病没、

安土教会許可 1579=45歳 : 荒木一族も鎮圧されたので、

石山合戦終・ 1580=46歳 : 石山城の顕如はついに屈服し、加賀の一向一揆も柴田勝家により平定された。

・ ・ ・ ・ ・ 1581=47歳 : 京都で盛大な馬揃を挙行、正親町天皇の行幸を仰ぎ、整備された軍容を天下に示したが、

本能寺の変・ 1582=48歳 : \*木曾義昌の来属を機に甲斐・信濃に侵入、武田勝頼を田野に敗死させ、信濃・甲斐・上野に部将を分封して国掟を与え、ついで神戸信孝らに四国征伐を命じ、中国征伐の指示を与えるため上洛し本能寺に宿泊したところを明智光秀に急襲されて自刃、信忠も二条城で敗死した。